2021.10.05 篠路駅周辺地区まちづくり計画 第2回地域協議会での

まちづくり計画案および配置例へのご意見

【市有地の配置例に関するご意見】

- 計画は理想的であるが、本当にこのようなことができるのか。
- 配置例2のように業務機能があって職員の住むところができれば、周辺にコンビニもできたりして良いのではないか。
- 市有地は<mark>商業系の用途地域</mark>にはできないのか。麻生、新琴似は容積率 300~400%あったと思う。そういったところも実現されるように頑張って欲しい。
- この土地を全て何か一つの用途に使うのではなく、一部に住宅を立てるのもありかと思う。若い方が家を建てるのに土地探しに苦戦していると聞いた。業務機能が立地し、利用者等で栄えていくことになると、バスで往来しやすい環境も作っていけるのでは無いか。

【駅前エリアに関するご意見】

- 昔は駅前に食堂があったが、今はない。買い物するところもない。そういった声を耳にすることがある。駅前に人が立ち寄れる場所が欲しい。札幌市の土地ではないので地権者次第ではあると思う。若ければ車で行けるが、高齢者が気楽に歩いて行けるお店があると良いと思う。
- 首都圏のような大きいまちづくりは篠路にあっていないと思う。大きな施設は車で行けてしまう。小さな規模で考えていけると良いのではないか。駅前には出張所を移転したりする のが良いのではないか。また、公園には子供を遊ばせに好んで行くので、駅前はそういった場所のほうが良い。
- 少子高齢化が進んでいる中でにぎわいのあるまちにするには、<u>駅前に札幌市がビルを建て、テナントを入れ、一杯飲んで帰れる場所などが必要</u>。駅前が賑やかでないと、<u>公園に人も座</u> らないのではないか。道の駅なども賑わっていると聞く。そのような賑やかな物販施設などを駅前に持って来なければ地域の繁栄はないと思う。
- 大きな商業施設というよりはコンビニなど<mark>小さな店舗の規模で十分</mark>ではないか。

【地区全体・まちづくりの方向性・その他に関するご意見】

- 札幌市の土地を、<u>手を挙げて来たところに売る、これがまちづくりなのか。</u>篠路にホームセンターが無いわけではないので、立地したから発展する、というイメージではない。他の エリアから人を呼ぶか近くの住民に使ってもらいたいのか、中途半端にみえる。では何が発展かというと、駅前は寂しいので<u>商店街になるように店舗を呼んでもらうといった形の方</u> がわかりやすいまちづくりだと思う。また公園等も利用して賑わいの連続性があると少し違ってくると思う。
- まちづくりを始めてから何十年も経っており、本来であればもう良いまちになってるはずではないか。
- **雪捨て場の問題点 (柵があり不便、地区外から捨てに来る人もいる)**や道路の雪対策が実現されていない点などの不満の声を聞く。住民目線でまちづくりを考えてほしい。
- 公園の草刈業者が<u>草刈りをしっぱなし</u>で、きちんとやってくれない業者もいる。子供がつまずくと危ないが、<u>このようなことは誰に言えば良いのかわからない。</u>行政が難しいことは 地域で多少なり手をかけ、**できることから始めていけるといいと思う。**
- 鉄道の高架化とともに、高いビルができ、出張所やお店、上層部に住居が入るような、壮大な計画を持って欲しい。
- 中央バスが未だに1時間に2本しか通っていない。採算が取れないのであれば、市が補助金を出してバス事業者を支援し本数を増やしていかないといけないのではないか。
- 駅東側に移転したしらかば台篠路病院の**職員が200名ほどいるが、近くにコンビニもなく不便と言われている。そういったところから改善**して行かないといけない。
- 人流が滞っている。南北方面は良いが、東西方面は非常に不便。横新道の渋滞問題を解決しないと人の流れはスムーズにならない。
- 魅力のある篠路にしていくために、例えば旧琴似川はごみがたまり汚い状況だが、地域ボランティアに頼る、少年野球や企業などの単位で声をかけ、市に音頭をとっていただき、1 時間程度でもいいので小さな積み重ねから篠路をきれいにしていくなど、まずいま出来ることから少しずつ実行していくことが大切。地域ができることから手をつけて、実行、反省し、次回の会議につなげる、ということが望ましい。

● まちづくりの方向性について、住んでいる私たちがどうしていけば良いのかを話しあう機会があった方が良いと思う。主体になる人がいなければ、「誰もが暮らしやすく笑顔あふれる まち」にならない。地域の皆さんと話す機会がなく、今日顔を見て安心した。いろんな状況の方とお話ししていきたい。小さなことからやっていくことは、その通りだと思う。

【社会実験に関するご意見】

- 時期が寒いなど課題はあるが、こうした小さな取り組みから始めていくべき。
- 地域のイベントは中止している。コロナ禍で予算をかけて開催しなくてもいいのではないか。
- 寒すぎると、若者は参加しても高齢者は参加しにくいので、データが取りにくくなるかもしれない。
- 社会実験の実施には、事前の草刈りや照明の準備、駐車スペース確保が必要ではないか。
- キッチンカーは暖かいものやお子さんが喜ぶものが望ましい。
- ランターンまつりを行った際は、**情報を知って来て下さる方がたくさん**いた。スーパーやコミセンなど**地域の方々が利用する場所にチラシやポスターを張っても**いいと思う。